

減量認定申請書

東京都下水道局長 殿

年 月 日

東京都下水道条例施行規程第29条第1項の規定により、次のとおり申請します。

申請者 (使用者)	住所											電話番号 ()											
	氏名 (名称)																						
※ ₁ 使用場所	住所											電話番号 ()											
	名称 (施設名)											担当者名											
※ ₂ 使用水種	水道水 ・ 井戸水 ・ その他 ()																						
お客さま 番号	水道	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	井戸	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
※ ₂ 減量事由	製品含有 ・ 製造工程 ・ 冷却塔 ・ ボイラー ・ 散水 ・ 工事 ・ その他																						
※ ₃ 添付資料	①年間使用水量（水種別・月別） ②減量予定水量（水種別・月別） ③私設量水器（使用・変更・廃止）届（減量用） ④平面図（給・排水経路含む） ⑤減量関係機器仕様 ⑥製品年間出荷高数（月別） ⑦原材料の年間納品数（月別） ⑧製造工程図 ⑨製品別単位当たり含有水量・蒸発水量 ⑩建設産業廃棄物処理委託契約書等写 ⑪工事工程表										減量事由別添付資料 ・ 製品含有及び製造工程 ①～④+⑥～⑨ ・ 冷却塔及びボイラー ①～④+⑤ ・ 散水 ①～④ ・ 工事 ①～④+⑩⑪												

※₁ 申請者と使用場所の住所・名称等が異なる場合のみ記入してください。

※₂ 使用水種及び減量事由は、該当する項目を○で囲んでください。

※₃ 添付資料の詳細については、提出先にお問い合わせください。

<減量認定の条件>

- ・減水量として申告する水の量が、製氷業その他の営業で、その営業に伴い使用する水の量であること。
- ・一月当たりの減水量が一月当たりの総使用水量の10%以上を占める見込みがあること。ただし、一月当たりの総使用水量が1,000m³を超えるものにあつては、一月当たりの減水量が100m³以上となる見込みがあること。
- ・減水量を量水器による計算その他の方法により明らかにできること。